

設立趣意書

わが国で着実に進む高齢化に伴う医療費の増加は喫緊の社会的課題である。一方で、健康の維持や増進に着目したヘルスケア産業は成長分野であり、ビジネスチャンスがあると考えられることから、今後も市場が形成され、産業振興に大きく寄与することが見込まれる。

国においては、健康寿命の延伸に関する市場創出及び産業育成は、国民生活の質の向上、医療費の抑制、雇用拡大及び国の経済成長に資するものであるという考えのもと、官民一体となって具体的な対応策の検討を行う場として、平成25年4月に「次世代ヘルスケア産業協議会」を設置した。

盛岡市には、岩手大学等との活発な産学官連携を積み重ねてきた実績があるほか、新事業・新産業創出の拠点となるインキュベーション施設や高い技術力を持つものづくり企業の立地など、ヘルスケア産業が発展する素地がある。この好環境を生かし、民間事業者や医療機関、大学、自治体などの関係機関が共通の認識を持ち、地域を巻き込みながら連携をより強化することで、住民の健康寿命の延伸に資する、より実効性がある新事業の創出とヘルスケア産業の集積を図ることが可能になると考えられる。

このことから、盛岡地域におけるヘルスケア産業を支援することにより、住民の健康寿命の延伸、医療費の適正化、新産業及び雇用の創出、ヘルスケア産業関連企業の集積等につなげることを目的とし、ここに「盛岡ヘルスケア産業協議会」を設立するものである。

平成29年12月吉日

発起人

盛岡市

市長 谷藤 裕明

東北ライフサイエンスインスツルメンツクラスター

会長 小山 康文